

## 【第5回 佐賀県豚熱対策本部会議】 8月31日 9:00

農林水産部長／飼養頭数を約450頭としていたが、実際は511頭だった。8時現在の処分頭数は、317頭。進捗率は62%。

埋却は、昨夜23時に開始、フレコンバッグ91袋を埋却溝へ投入済み。

現地防疫作業員の動員数は、今朝4時から始まった第2クルルの作業が終わり、合計328名。建設作業協会の皆様には、主に埋却作業を担っていただいた。

消毒ポイントの変更はないが、養豚農家から高速の出入口への設置の要望があり、増設するよう検討中。

今後、残りの殺処分、埋却、覆土を進める。その後、農場内の消毒、豚舎内の壁、床、天井の消毒、豚舎外の敷地の消毒、豚舎周辺に消石灰をまき消毒を徹底する。餌は殺処分の埋却溝に埋め、糞は豚舎内に積み上げて堆積発酵し処理する。

本日、国の疫学調査チームが佐賀入りする。発生農場や周辺の現地調査を行う。また、3km圏内の6農場の臨床検査、血清抗体検査を実施する。

昨夜発表した2例目疑い事例の検体は、本日予定どおり国の動物衛生研究部門に送付した。

防災監／昨夜20時に作業を開始。今朝8時の時点で、処分頭数317頭、進捗率62%。大型の豚から処理を始めたので、作業ベースにすると7割を超えたぐらい。

気温が上昇し、10時をめぐりに一時作業を中断したい。殺処分完了まで4時間と想定している。夕方に再開して本日中に終了させたい。

2例目にも対応できる形で、準備も進めている。

唐津市長／連日、ありがとうございます。長丁場になることも想定し、現場に近い竹木場公民館に現地対策本部を置けるよう調整中。

南里副知事の下、市職員も懸命に務めたい。

知事／猛暑の中、気温と劣悪な環境で、作業が進みにくいのではないか。

2例目がスムーズに対応できるよう、1例目の課題の整理をお願いします。送風機の補充や自衛隊の集積拠点の調整など、唐津市の協力を得て対応してほしい。

農林水産部長／これは、埋却溝で消石灰をまいている作業の様子。フレコンバッグは、1トンバッグだが、500~600kg、5~6頭ほどしか入らない。

防災監／埋却用の穴は、全部掘り終えている。ただ、掘った穴の底でする作業が過酷。

殺処分は、今日中に終わる予定だが、覆土作業がもう1日かかるだろう。

知事／建設業の皆さんが担当している作業が大変なので、よろしくお願いします。

県土整備部長／消毒ポイントの設置作業を昨夜から進め、すべての箇所での運用が始まった。畜産関係は、JAからつ畜産部と国道204号線の2か所。6時ごろ、畜産車両が入り、計10台の消毒処理をした。JAからつ畜産部では4台。

知事／3例目の兆候は？

農林水産部長／今のところない。本日から、3km以内の6農場は、臨床と血液検査をする。拡大を防ぎたい。

落合副知事／2例目の検査結果は、何時になるのか。

農林水産省／20時ごろになる。

県民環境部長／豚熱の発生を受け、豚肉の価格や売れ行き等の調査をする。県内の主要10店舗、スーパーを訪問しヒアリング調査を予定。昨日の電話では、混乱はないとのことだった。

また、風評被害を招く恐れのある不適切表示がないかを消費生活班で巡回、監視活動をする。現在、そのような事例は確認していないし、通報もない。

知事／県民の皆さんは、冷静な対応をさせていただいている。通常どおり豚肉を消費してと伝えてほしい。

健康福祉部長／作業従事者の健康管理のため、農場外テントとサポートセンターに保健師を派遣した。農場外テントでは、熱中症疑いが1人。サポートセンターでは、頭痛、足がつった人が各1名。いずれも軽症。

知事／現場の休憩テントは、機能している？

防災監／機能している。ただ、獣医師さんは過酷な作業なので、体調がきつくなる恐れがある。

知事／現場のテントのサポートを充実させ対応をお願いする。

健康福祉部長／経口補水液とポカリスエットを置いているが、量が減り補充の手配をした。

知事／ 1例目の作業で、かなり過酷な作業だと再認識した。2例目は規模が大きいため、今から準備を並行して行う。1例目の反省点を踏まえ、各機関が連携して対応したい。今夜、確定時に再度手順を確認するので、昼と夜に打合せをしましょう。